

ひらめきの力

中央っ子通信第7号で、本校の課題として「ひらめきの力（問題を解決するために考える力）」があるとお伝えしました。この課題を解決するために、本校ではそれぞれ子供の実態に合わせて取り組んでいるところ です。例えば、次のような学習活動です。

- 自分で計画を立てて学習を進めるマイ・プラン学習
- 短時間に集中して取り組む反復学習
- メタモジという学習支援アプリを使って、友達の考えを画面に表示してクラス全員に紹介し、考えを深める個別学習・協働学習

また、保護者がお仕事のお仲間と共にゲスト・ティーチャーになっていただくことで、子供たちは教科書では学べないリアルな学びを経験することもできました。右の写真は、ある企業様のラグビーチームでご活躍なさっている保護者の方々が、3年生対象にタグ・ラグビーの魅力を伝えてくださっている様子です。このように多様な学びでひらめきの力を高めていこうとしています。



個別学習の様子



3年タグ・ラグビーの様子

中学校進学に向けた修学旅行

10月30・31日に6年生と長崎へ修学旅行に行きました。出発の前日、6年生に「学校の目標 ころざし・おもいやり・ひらめきの力を一層高めるために修学旅行に行きましょう。」と伝えました。修学旅行のねらいには、この3つの力がさらに高まるよう、一人一人の目標を設定したり（ころざし）、社会性や協調性を重視する集団行動をしたり（おもいやり）、長崎の歴史・文化を見学し平和の尊さを感じたり知識を深めたりする（ひらめき）ことが示されていました。6年生にはもう一つ話をしました。「校長先生は、志免中学校の校長先生や副校長先生方と仲がいいので、よくお話をします。先日、志免中の先生方に『志免中央小の子供たちに期待することを教えてください』と尋ねると、『主体性を伸ばしてほしい』と答えが返ってきました。中学校では、自分たちで行事などを企画し、自分たちでやってみるんだそうです。6年生のみんなだったら、志免中央小の目標達成と共に、中学校で取り組んでいる主体性を伸ばすためにも、この修学旅行は役立つんじゃないかな。」と伝えました。

修学旅行2日目に、私はハウステンボスでお土産を買おうとしていました。すると、6年生が「校長先生、中学校の先生方にお土産を買いましたか。」と声をかけてくれました。心があたたかくなり、後日、志免中学校の校長先生へお土産をわたし、子供たちの活躍について話をしました。

